

防災対策

倒木による重大な支障に懸念 一定の条件を対象に対策検討



あさの しゅういち
浅野 修一 議員

問 町内の中山間地において、倒木による重大な支障の懸念があり、早急な対策が必要ではないか。

答 徳廣まちづくり課長
植えられている箇所が、官有地か民有地かによつ

て異なり、今後、一定の条件を対象に支援する制度を検討しており、来年度の運用に向けて要綱を整理し、対策を検討する。

問 被災時に、重機や衛生車両がなければ日常生活はもとより、復興への道も遠のく。
保管状況が重要であり、今後の町の対応策を問う。

答 徳廣まちづくり課長
町内の、大部分の建設業者が重機を浸水区域外に保管し、建設協会とも災害時の協定書を締結。どのような対策、体制で望むのか、課題共有しながら協議していきたい。

答 宮川 環境政策室長
衛生車両の確保は重要な課題と認識している。



町道沿いに乱立する、倒木が懸念される杉の木
(黒潮町伴太郎)

現時点では高台保管が可能な状況になっているが、高規格道路事業の進捗状況を把握しながら、今後も、国土交通省等と情報共有しながら高台保管の支援を続けていく。

産業振興 黒潮一番館の 改装、再開発を 維持管理、及び 修繕の予算確保

問 高規格道路の開通前、生き残り策の一つとして、黒潮一番館の改装、再開が必要ではないか。

答 秋森 産業推進室長

黒潮一番館の改装と再開発については、指定管理者の経営方針もあり、指定管理者と連携を図りながら対応をしていくことが必要になると考える。
現状では、黒潮一番館の改装と再開発は考えていないが、施設の維持管理及び修繕に必要となる予算は確保していきたい。

山林再生

広葉樹林へと
転換、拡大必要
持続可能な森林
環境の整備を

問 保水力の向上には、人工林を広葉樹林へと転換、拡大する必要があり、また、このことは山のみならず海洋環境の改善となり、加えて有害鳥獣対策にもなり得ると考えるが、町の見解、対策は。

答 今西 海洋森林課長

広葉樹は山地に水を蓄え、渇水にならないよう、保水力は高く、針葉樹と比較し広く複雑に根を張り、高い保水力を保ち、森林の持つ多面的な機能や水源涵養機能において非常に重要な樹種である。
現時点での山林皆伐後の再造林の樹木種はスギ及びヒノキだが、山林整備で様々な方向性を探り、将来にわたり持続可能な森林環境の整備に努める。